

福井県衛生環境研究センター研究員活動報告 概要

発表演題名	LC/MS によるテトラブロモビスフェノール A 分析の最適化
発表学会名	全国環境研協議会会誌 (論文)
発表者名	松井利夫、藤井幸雄、鈴木茂 (中部大)
開催場所	全国環境研協議会会誌 季刊 第 33 巻 4 号 2～7 頁
発表日時	平成 20 年 12 月
発表内容	目的：LC/MS によるテトラブロモビスフェノール A (TBBPA) の分析方法の確立を目的とした。 結果：3 種のイオン化法 (ESI, APCI, APPI) のいずれでも分析可能であった。コーン電圧等の最適分析条件を検討したところ、ESI (negative モード) が APCI 法より感度が良かった。移動相 (アセトニトリル系・メタノール系) の違いが感度に強く影響した。 河川水中の TBBPA をジクロロクロロメタンで抽出し、アセトニトリルで転溶後、ESI (-) で分析したところ、装置検出下限値は 306ng/L であり、添加回収率は 96.5% であり、福井県内 12 箇所の河川水の濃度 (300 倍濃縮) はすべて不検出 (1 ng/L 未満) であった。